

文学部FDレター no.12

作成文学部FD委員会 2019年9月

文学部では授業改善を目的に年2回の授業アンケートを実施し、ご担当の先生方にその結果をお知らせしております。学生自由記述欄に書かれたことについては、授業改善を目指した教員・学生間での情報共有という観点から、FD委員会で整理をし、ニュースレターにて公表しております。これまでと同様、以下、「学生自由記述欄」、「授業改善のために」の順で主な意見をご紹介します。

I. 授業アンケートの学生自由記述欄

前回同様、2018年度後期の自由記述欄をFD委員が閲覧いたしました。学生の皆さんの意見を、以下、一部要約も交えながら「講義」、「外国語」、「演習」の順にご紹介いたします。

1. 講義

(1) 良かった点

- ・教材（配布資料、映像・画像資料等）が活用されていた。
- ・授業で指示された参考文献がとても役立った。
- ・Google フォームの利用によって、授業中に全員の意見をすぐに知ることができた。
- ・グループワークやディスカッションの導入。学科・学年を越えて意見交換ができた。
- ・指導方法や質問について、教員の対応が丁寧であった。

(2) 改善して欲しい点

- ・教員の言葉づかいの乱暴が目立った。
- ・自分の主張を押しつけるのをやめて欲しい。
- ・授業中のトイレ、くしゃみ、咳の禁止は厳しい。
- ・同じ担当者の別科目の内容が似通っている。
- ・映像・VTRを使用する際、照明をすべて消すとメモが取れなかったり、映像が眩しく感じたりする。
- ・パワーポイントの字数が多く、文字が小さい。資料を配付して欲しい。
- ・欠席した回のプリントがもらえない。
- ・リアクションペーパーへのレスポンスがない。
- ・私語を注意して欲しい。
- ・シラバスに書かれていたこととは異なり、試験直前になって成績評価の方法がレポートから試験に変更された。
- ・「女性とキャリア」の授業では教員よりも社会で活動している方の話を聞きたい。
- ・質問が多い授業なので、質問の内容を学生間で共有できる工夫をして欲しい。

(3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・ホワイトボードのマジックがかすれる。
- ・教室の温度調節が不適正。

2. 外国語

(1) 良かった点

- ・簡単な文章を話したり書いたりできるようになった。
- ・テストのスコアが大幅に上がった。
- ・グループワーク、ディスカッションなど外国語を使う機会が多く、実力がついた。
- ・教科書、プリント、映像が効果的に使われた。
- ・ただ語学を学ぶのではなく、社会問題などのトピックを取り上げてディスカッションしたこと。
- ・宿題や小テストが多くたいへんだったが、その分実力がついた。
- ・先生が学生一人ひとりの顔と名前を覚えてくれた。
- ・全員に平等に発言機会が与えられた。
- ・先生が丁寧に添削をしてくれた。
- ・オフィスアワーに積極的に応じてくれた。

(2) 改善してほしい点

- ・教員の態度が威圧的だった。注意をするときの言葉づかいに注意して欲しい。
- ・買ったテキストはきちんと利用して欲しい。
- ・不真面目な学生（遅刻、課題をやってこない、私語をするなど）への対応をきちんとして欲しい。授業の妨げになっているので。
- ・同種の科目でありながら、教員によって内容の差が大きい。
- ・能力別のクラスだが、内容がそのクラスのレベルと合っていないように感じられた。
- ・授業の終了時間を守って欲しい。
- ・課題に見合った単位数を設定して欲しい。
- ・時間割の曜日・時間を変えて欲しい。

(3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・受講者数と教室の規模が合っていない。
- ・教室の温度調節が不適切。

3. 演習（実践的科目も含む）

(1) 良かった点

- ・専門的知識や実践的スキルが身についた。
- ・先生が優しく、説明や質問への対応が丁寧だった。
- ・添削をしてもらえたのがよかった。

- ・グループワークによって、多くの人と知り合うことができた。
- ・ポータルや携帯で授業内容が繰り返し見られるのがよかった。
- ・日頃やらない運動ができ、自分の新しい可能性が見つけられた。

(2) 改善して欲しい点。

- ・プリントの文字の大きさや用紙の大きさが不適切。
- ・私語や授業に参加していない学生に対して注意が必要。
- ・板書の文字が小さかったり、説明の声が小さかったりする。

(3) 教室の施設・設備（受講者数、教室の大きさ、照明の明るさなど）について

- ・教室の温度調節が不適切。
- ・機材の調子が悪い（マイク、ビデオなど）。
- ・スクリーンが小さい。
- ・ホワイトボードの文字が見えにくい。
- ・体育館の床が抜けそうで怖い。

II. 授業の改善のために

「授業改善のために」は、担当の先生方全員に提出をお願いしております。ご提出いただきました先生方に深く感謝申し上げます。また今後の提出についても引き続きご協力をお願いいたします。以下、皆さまからいただきましたご意見の中から、一部を紹介させていただきます。

1. 改善アンケートの結果（「自由記述欄」を含む）をどのように分析されますか。学生への解答としてお書きください。

この項目では、担当教員から学生の皆さんへの回答をお願いしております。学生の皆さんにアンケートをお願いしている以上、その回答に対して教員の側にも応える義務があること、また授業の趣旨を取り違えたような回答があった場合、教員側にも説明の機会があった方が望ましいことなど、アンケート結果をフィードバックしてゆくための体制づくりを念頭に置いた措置です。委員会向けの回答として書かれている方も見受けられますが、以下では学生に向けに意図された回答の一部をご紹介します（省略や言葉遣いの変更を行った場合もあります）。

- ・授業運営については概して満足していただけたようで安心しました。専門用語などは、さらに分かりやすくなるよう、資料の充実や、提示方法の工夫に努めます。学生の皆さんには、予習・復習を含めて積極的な授業参加をお願いします。
- ・ゼミについて、もっと発表しやすい空気感が欲しかったというコメントがありましたが、ゼミの時間にも伝えたように、ゼミでは発表しやすい空気をあてにして軽い気分で意見を述べて欲しいと思っていません。少し緊張を要する、なかばフォーマルな席で、言い

たいことを主張する力量を身につけてください。

- ・授業の目的や意図をまったく理解していないコメントが見られたのは残念なことでした。
- ・説明が聞き取りにくいという意見がありました。今後は日本語とのバランスも考え、より分かりやすい解説を行うつもりです。
- ・映画の解説・分析で、映画の音声と解説が重なって混乱したと言う指摘がありました。今後は解説の際なるべく画面を停止するようにいたします。

2. 以下の項目について、FD 委員会への回答としてお答えください。

①授業改善で成果がみられたご自身のFD 活動について、その内容、期間、効果等について、出来る限り具体的に記述願います。

*教材等の工夫との関連で

- ・LMS（個人ベースで使用）によるレジュメの事前提示が肯定的評価を得た。大学全体でLMSを導入するのが望ましい。
- ・資料・教材の改定。
- ・パワーポイントや視聴覚教材の活用。

*学生の参加、双方向の授業、学生とのコミュニケーションとの関連で

- ・学生の参加を促す授業展開上の工夫（グループエンカウンター、ロールプレイングなど）により満足度が上がった。
- ・学生から質問を受ける方法の多様化（機会、方法）により、学生の関心を把握し、授業で補足することができた。
- ・リアクションペーパーには内容に関する質問以外に、授業方法についての要望も書いてもらった。それによって、授業期間に改善できたこともあった。

②授業改善を実施するうえでの問題点について、お聞かせください。

- ・ジェンダー、セクシャリティに関する教材や言動について、教員はより鋭敏であるべきことの自覚が必要。
- ・自由記述欄に意見を書く学生の減少傾向が心配。
- ・双方向の授業を目指すことによって生ずる、授業時間内でのバランスの問題（知識の提供、小テスト、リアクションペーパー、レスポンス等）。
- ・理解力、語学力、意欲、行動力、感受性等について、学生間での個人差が大きい。不勉強な学生を対象に分かりやすい授業を目指すことは、授業の質の低下につながる。大学全体でとして学生の学習時間を増やす取り組みが必要。
- ・LMS 使用環境の整備や IT 機器のアップデートが必要。

③FD 活動全般に関するご意見・ご提言についてお聞かせください。

- ・FD 活動を大学全体のビジョン、大学や学生のあるべき姿を念頭において、実施方法や対応を考えてゆく必要があるのではないか。
- ・専任教員の授業を公開し、同僚評価を行うのが良い（今回に限らず複数の先生から指摘

がありました)。

- ・授業規律や学生のしつけについて考える必要はないか。
- ・FD活動の方法として、アンケートデータをまとめる方法はそろそろやめて、次のステップに進んではどうか。
- ・アンケートの項目、意義、方法について見直しも必要。

Ⅲ. FD委員会より

1. 委員会としての所見

委員会では学生の皆さんによる「自由記述欄」に加え、先生方からご提出いただいた「授業改善のために」にも目を通し、授業改善に向けた意見収集に努めています。

これらの意見からうかがわれる課題等について、いくらか所見を述べさせていただきます。

最初に「授業改善のために」の提出について、引き続きご協力をお願いいたします。学生皆さんからの自由記述に対しては各先生方から回答していただく形で、フィードバック体制を作っていきたいと考えております。

学生の皆さんが「良かった点」、「改善して欲しい点」として書いていること、また先生方が「授業改善のために」で述べられていることについては、前回も指摘したとおり、毎回似た意見が出されています。

先生方の授業改善に向けた試みや努力とともに、教材の充実、器機の使用、双方向型授業への取り組みなどが高く評価されていますが、一方で、器機の使用方法やグループワークの運用など、これらの試みに関する要望も出され、教員側のさらなる努力が求められている状況が見られます。こうした問題への対処が、今後のFD活動の中心的課題になるものと認識しております。

学生の皆さんからの改善要望については、依然として少数ながら、教員側の学生に対する態度や性的・暴力的な表現をとまなう教材への不満が見られます。特に、教材については学問的な取り扱いであることの説明や事前の周知など、丁寧な対応をお願いいたします。

「授業改善のために」における先生方からの指摘において、近年増えつつあるのが学生間の学力差や意欲差に関する問題ですが、同様の問題は学生の皆さんからも指摘されるようになりました。FD活動は教員だけではなく学生もいっしょに取り組むべき課題でもあること認識させますが、これは今後の課題として残されたままです。

また、大学のビジョンに応じたFD活動の方針を問うご意見も寄せられています。全学共通の教養科目がスタートし、全学的にLMSの導入を行う段階に入ったことを受け、両学部のFD委員会も統合を目指しております。そうしたなかでFDの全学的な活動方針も再確認してゆきたいと思っております。

2. 関係部署から

アンケート結果では、毎回ほぼ同様の問題が指摘されております。教務課と施設課にはその旨を報告した上で、これまでの回答を再録いたします。

①教務課から

・時間割の編成について

できるだけ多くの皆さんが様々な授業を履修できるように努力していますが、様々な都合によりどうしても科目の重なりを避けられない場合がありますことをご理解いただき、4年間での履修計画を立てていただけるようお願いいたします。I 講時の授業は朝が早く大変ですが、多くの科目を履修しやすく開講するためにはI 講時をはずして時間割を組むことは難しい状況です。

・教室の大きさ人数の不釣り合いについて

受講者数に合わせて教室変更を適宜行っていますが、授業で使用する機材設備の関係で教室配当することもあり、広すぎたり、狭かったりする場合があります。機材設備についてはできるだけ整備していくよう努力しておりますのでどうぞご理解ください。

・語学の単位について

語学は演習科目の時間数で実施しています。1 単位の授業は 45 時間の学修を必要とすることになっており、多くの外国語科目の場合は 30 時間（15 回）の授業をもって 1 単位を基準としています。

②施設課から

・新館の暖房について

新館の教室が総じて寒いとの声がありました。新館の暖房は他の教室と違いエアコンでおこなっています。使用を始めてから間もないこともあり、暖房効果等を検証しながら改善策を検討していきます。

・地下体育館について

図書館の耐震工事の際に点検していますので、床が落ちる心配はありません。安全に使えるよう、床のささくれなどには注意し、補修するようにしています。

③システム管理室から

・WIFI がつながりにくいという問題について

現在、16 条キャンパスでは、すべての教室で WIFI が接続できるようになっています。つながりにくい場所があった場合、具体的にお知らせください。改善に努めたいと思います。

文学部 FD 委員会は、今後も年 2 回のアンケート通じて課題を汲み上げつつ、効果的な授業方法についての研修や情報共有へと少しずつ活動の場を移してゆきたいと考えております。引き続き皆さまのご協力をお願い申し上げる次第です。